

災害発生時等の学校対応について

1 基本的な考え方

平成18年7月豪雨による土砂災害等により死者・行方不明者が多数であるなどの多くの被害が生じました。今回の災害を踏まえ、災害発生時等の授業実施について、以下のようにしたいと思います。

人命の尊重を最重点に考え、原則として、JR小海線が全面運休した場合は、学校を休校とします。しかし、実際には、全面運休に至るまでの間、部分運休から時々刻々と状況が変化しますので、学校から連絡がない限りは、原則として通常どおりの授業を実施するものをご理解ください。(全面運休に至らなくても、通常の通学方法により登校できない生徒については「公欠」等の扱いを考慮します。また、その日の授業内容・進度等にも配慮します。) また、身の危険が予想される場合や緊急の場合の登校については、学校からの指示を待つのではなく、自主的に家庭で判断してください。

2 授業実施可否の判断時刻及び判断内容

- (1) 判断時刻 午前6時
- (2) 判断内容 「通常どおり」「始業時刻を遅らせるなど変則実施」「休校」のいずれか

3 通常どおりに授業を実施しない場合の生徒・保護者への連絡方法

- (1) 各クラスの連絡網により、クラス担任から連絡します。
- (2) 携帯からアクセスできるサイト
<http://www.nagano-c.ed.jp/ganko/i/index.htm>
に、午前6時30分までに掲載します。
- (3) 本校公式ホームページの災害時 <http://www.nagano-c.ed.jp/ganko/i/index.htm>
に、午前6時30分までに掲載します。

4 その他

- (1) 各クラスの連絡網による連絡は、ある程度の時間がかかるので、6時30分以降、携帯サイトや公式ホームページでも確認してください。
- (2) 豪雨や台風などの警報が発令された時には、授業を実施する場合でも、できる限りその旨を公式ホームページと携帯サイトに掲示します。(午前6時30分までに特別な掲示がない場合には、通常どおり授業を実施するものをご理解ください。しかし、その後、状況の変化に応じて休校になることもあります。)
- (3) 休校にした場合は、原則として、後日回復措置をとります。